

快速女子が集合して初開催!!

# 第1回 PGI スピードウエー メモリアル



ボートレース浜名湖 2/19(水)▶24日(祝)



なんと5場でトップタイムを叩き出した浜田亜理沙

**5場でタイム1位の浜田亜理沙!!**  
**全場でトップタイムは西橋奈未**  
**新鮮なドリーム戦の顔ぶれ!**

女子戦線に新たなプレミアムG Iが誕生した。レースの走破タイムが選出基準となる初のレースだ。出場選手の内訳は、以下の三つのカテゴリーに分けられる。

① 全国各場で最も速いレースタイムを記録した選手：24名

まず最優先されたのがこの24選手。複数のレース場で1位をマークした選手もいるので、その場合は各レース場の2位、3位から選ばれたケースもある。またA2級以下でも、一発好タイムを叩き出して選出された選手も少なくない。

上田紗奈も2場で1位の時計をマーク



② 開催地以外の場の推薦：23名

タイムで上位には入れなかった選手でも、各レース場から地元が強豪が推薦された。遠藤エミや寺田千恵ら実績断然のベテランだけでなく、清水愛海ら5000番台の若手も4人名前が見える。

③ 開催施行者の希望選手：5名

最近の浜名湖で良績を残した選手が中心に選出された印象。

そして大きな注目を集めたのが、1月10日に発表されたドリーム戦メンバーだ(次ページ表1)。

1号艇は何と5場(尼崎・平和島・蒲郡・津・宮島)で1位を記録した浜田亜理沙。その中で最も速かった尼崎での代表として出場する。上田紗奈も芦屋と常滑で1位を記録し、2号艇で選出された。

3号艇の細川裕子は、この第1回の開催水面となる浜名湖でトップ時計をマーク。4号艇の刑部亜理紗は唐津1位。今回最も登番の遅い選手だが、地元のホープだ。そして5号艇の西橋奈未は、選考期間中に全国のトップタイム(1

# SPEED QUEEN Memorial

表2 第1回スピードクイーンメモリアル 出場選手選出順位

出場者	レース場	登番	選手名	支部	級別	勝率	レースタイム	備考
各ボートレース場の最速タイム記録者	桐生	4819	蜂須 瑞生	群馬	A2	5.93	1'47"7	桐生1位
	戸田	4387	平山 智加	香川	A1	6.69	1'47"4	戸田1位
	江戸川	4893	渡邊真奈美	東京	B1	5.27	1'50"8	江戸川1位
	平和島	5188	武井莉里佳	兵庫	B1	5.20	1'48"5	平和島3位
	多摩川	4190	長嶋 万記	静岡	A1	6.35	1'46"3	多摩川2位
	浜名湖	4123	細川 裕子	愛知	A1	6.94	1'47"0	浜名湖1位
	蒲郡	4804	高田ひかる	三重	A1	6.17	1'47"1	蒲郡3位
	常滑	4464	山下 友貴	静岡	B1	5.02	1'47"4	常滑2位
	津	4963	實森 美祐	広島	A1	6.23	1'48"0	津3位
	三国	4050	田口 節子	岡山	A1	7.21	1'46"7	三国1位
	びわこ	3900	香川 素子	滋賀	A2	6.33	1'46"4	びわこ1位
	住之江	4208	三浦 永理	静岡	A1	7.44	1'47"7	住之江2位
	尼崎	4546	浜田亜理沙	埼玉	A1	7.36	1'46"4	尼崎など5場で1位
	鳴門	4961	西橋 奈未	福井	A1	6.85	1'45"2	鳴門1位
	丸亀	4450	平高 奈菜	香川	A1	6.59	1'48"0	丸亀2位
	児島	4938	小芦るり華	佐賀	B1	5.02	1'47"2	児島3位
	宮島	4499	滝川真由子	長崎	A2	6.16	1'47"6	宮島2位
	徳山	4738	清楚 翔子	埼玉	A2	6.06	1'49"0	徳山2位
	下関	4433	川野 芽唯	福岡	A1	6.62	1'46"9	下関3位
	若松	4936	戸敷 晃美	福岡	A2	5.42	1'47"5	若松1位
	芦屋	5057	上田 紗奈	大阪	A2	5.59	1'46"4	芦屋・常滑で1位
	福岡	4456	鎌倉 涼	大阪	A1	6.01	1'47"8	福岡1位
	唐津	5205	刑部亜里紗	静岡	A2	5.71	1'47"0	唐津1位
	大村	4530	小野 生奈	福岡	A2	6.52	1'47"1	大村1位
ボートレース場推薦出場者	桐生	4225	土屋 千明	群馬	A1	6.22		
	戸田	4746	大豆生田蒼	埼玉	A2	6.16		
	江戸川	4519	清水 沙樹	東京	B1	4.89		
	平和島	4117	廣中智紗衣	東京	A2	6.29		
	多摩川	4286	平田さやか	東京	A2	6.00		
	蒲郡	4183	宇野 弥生	愛知	A2	5.96		
	常滑	4678	水野 望美	愛知	A2	5.53		
	津	5013	山下 夏鈴	三重	A2	5.05		
	三国	4611	今井 美亜	福井	A2	5.85		
	びわこ	4502	遠藤 エミ	滋賀	A1	7.14		
	住之江	4927	関野 文	大阪	A1	6.26		
	尼崎	3845	中谷 朋子	兵庫	A1	6.05		
	鳴門	3611	岩崎 芳美	徳島	A2	6.00		
	丸亀	3232	山川美由紀	香川	A1	6.47		
	児島	3435	寺田 千恵	岡山	A1	6.79		
	宮島	3618	海野ゆかり	広島	A1	6.47		
	徳山	5163	清水 愛海	山口	A1	5.99		
	下関	4017	向井 美鈴	山口	A1	5.89		
	若松	4447	深川麻奈美	福岡	A2	5.89		
	芦屋	4347	魚谷 香織	福岡	A2	6.38		
	福岡	5203	神里 琴音	福岡	B1	4.34		
	唐津	4994	山本 梨菜	佐賀	B1	5.86		
	大村	5129	山口真喜子	長崎	A2	5.53		
	浜名湖開催施行者希望出場者	5174	川井 萌	静岡	A1	5.66		
4642		松尾 夏海	香川	A2	6.37			
4536		喜井つかさ	岡山	A1	6.22			
4240		今井 裕梨	群馬	A2	6.11			
4758		富樫 麗加	東京	A2	6.10			
予備1	4773	中川 りな	福岡	A2	5.96			
予備2	3188	日高 逸子	福岡	A2	5.94			
予備3	4845	前田 紗希	埼玉	A1	5.93			

(成績対象期間：2023/12/1～2024/11/30)

表1 ドリーム戦出場予定選手

艇番	選手名	備考
1号艇	浜田亜理沙	尼崎・平和島・津など5場で1位
2号艇	上田 紗奈	芦屋・常滑の2場で1位
3号艇	細川 裕子	浜名湖で1位、津で2位
4号艇	刑部亜里紗	唐津で1位
5号艇	西橋 奈未	鳴門で1位、全国トップタイム
6号艇	遠藤 エミ	(推薦)



地元・浜名湖の期待も大きい 開催地・浜名湖のトップは 刑部亜理沙 細川裕子

分45秒)を叩き出した。  
 なお6号艇は推薦枠で、昨年の優秀女子選手・遠藤が収まった。  
**絶対女王・遠藤に続くのは?!**  
 出場選手の顔ぶれはバラエティに富んだ顔ぶれとなったが、このレースの優勝争いという観点から見れば、やはり本命・遠藤、対抗に三浦永理というのが下馬評だろう。遠藤は浜名湖実績も十分。新时期適用勝率女子1位をマークしたのが三浦。地元の意地もある。微妙なのは3番手以降だが、まず前出の5場スピード女王・浜田



24場の最速タイムは西橋奈未が記録

と新世代代表の西橋。実績断然の平山智加や田口節子・平高奈菜らももちろん候補だが、一発なら今井美亜や松尾夏海の瞬発力に警戒を。センスを発揮しだした関野文や清水愛海の成長力も侮れない。



## 浜名湖実績から

# 出走経験でリードする地元両エース 急成長の川井萌にも注目! 遠征勢では中谷朋子と清楚翔子

21年8月のレディースチャンピオン・優勝戦に残った6強

表3 浜名湖における過去3年の勝率・上位20選手

順位	登番	選手名	出走	勝率	優出	優勝	回収率
1	4642	松尾 夏海	11	7.73	1	0	79.1%
2	4433	川野 芽唯	11	7.36	1	0	28.2%
3	3845	中谷 朋子	33	7.30	1	1	191.5%
4	4502	遠藤 エミ	7	7.29	1	0	66.6%
5	4961	西橋 奈未	10	7.20	1	0	217.1%
6	4190	長嶋 万記	85	6.94	4	1	71.2%
7	4123	細川 裕子	69	6.93	2	0	34.2%
8	4347	魚谷 香織	21	6.90	0	0	37.4%
9	4208	三浦 永理	128	6.89	5	2	58.5%
10	3232	山川美由紀	30	6.83	1	0	50.9%
11	4758	富樫 麗加	11	6.82	0	0	54.4%
12	4963	實森 美祐	22	6.77	1	0	78.9%
13	4546	浜田亜理沙	27	6.70	1	0	32.5%
14	4611	今井 美亜	22	6.59	1	0	118.5%
15	3435	寺田 千恵	31	6.58	1	0	37.8%
15	4499	滝川真由子	31	6.58	0	0	172.3%
15	4536	喜井つかさ	31	6.58	1	0	51.1%
18	4738	清楚 翔子	39	6.56	2	0	169.9%
19	4927	関野 文	11	6.45	0	0	38.4%
20	4450	平高 奈菜	19	6.42	0	0	83.7%

(集計期間：2022/1/1～2024/12/31)



QCの第1回覇者でもある三浦永理

記念すべき第1回の舞台となるのは、全国有数の広さを誇る浜名湖。汽水でクッションが適度になり、走りやすい水面だと語る選手も多い。究極のスピード合戦を展開するのももふさわしい舞台といえるだろう。

出走機会が多い地元勢では、長嶋万記と三浦永理の両雄がキツチリとエースらしい数字を残している。とくに三浦は、昨年7月

表4 最近3年の浜名湖女子戦で優出3着以上の好走歴がある選手

選手名	好走歴
三浦 永理	24ヴィーナス①、22オールL③
喜井つかさ	24ヴィーナス②
川井 萌	24オールL①
今井 美亜	24オールL②
寺田 千恵	24オールL③
長嶋 万記	22オールL①
浜田亜理沙	23オールL③
中谷 朋子	22.12ヴィーナス①
山川美由紀	22.2ヴィーナス②

のヴィーナスシリーズを11戦オール2連対と圧勝劇を見せた。さらにその1か月後の8月に行われたオールレディース戦では、地元から三浦・長嶋万記に加えて若手の川井萌と3人が優出。川井がまくってデビュー初優勝。その後好調をキープしてA1級昇格を成し遂げた。浜名湖推薦のイチ

表5 第35回レディースチャンピオン優勝戦 (2021/8/10・浜名湖)

着	艇番	選手名	進入	ST
1	①	遠藤 エミ	1	10
2	②	櫻本あゆみ	2	12
3	⑤	渡邊 優美	5	14
4	③	高田ひかる	3	25
5	④	山川美由紀	4	18
6	⑥	西橋 奈未	6	26

2連単 ①-② 360円 1番人気 逃げ  
3連単 ①-②-⑤ 1120円 1番人気



21年のLCでは準完全Vの遠藤エミ

オシホープには今回も注目を！しかしながら、遠征勢が久々でも大きなハンデにならないのがこの浜名湖。年イチペースである中谷朋子・滝川真由子・喜井つかさからも高勝率をキープし、3年間で1節しか走っていない松尾夏海・川野芽唯・富樫麗加らも表3の上位に名を連ねている。女王・遠藤も走る機会は少ないが、21年8月のレディースチャンピオンでは準パーフェクトVを飾っている。

さらに今井美亜・滝川真由子・清楚翔子らは、軒並み回収率100超え。穴党には魅力的な面々ではないか!?

### 浜名湖の注目エンジンを丸裸に!!

34 号機	評価 S	48 号機	評価 S	37 号機	評価 S	5 号機	評価 S	59 号機	評価 S
2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況
33.7%	→	35.3%	→	37.6%	→	44.4%	→	42.8%	↗
行き足が優秀で、その延長で伸びもいい。ターン後の進みもいいため道中で競る場面になっても分が良かった。		12～1月の6節間で4優出。正月戦での池田雄一は出足、回り足型だったが、その後はバランス型へとシフト。		正月戦で伊藤将吉が軽快な行き足、伸びを披露。その後の藤原孝斗もスリット近辺の気配は常に上位級だった。		通算6優出で4回の準V。実戦向きでどんなタイプの選手が乗っても中堅上位以上の動きになる。本体素性◎。		バランス型のエンジンだが、特に行き足系が優秀な印象。1月に立て続けに優出するなど冬場も好調をキープ。	

33 号機	評価 B	7 号機	評価 A	2 号機	評価 A	23 号機	評価 A	62 号機	評価 A
2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況
40.9%	↘	32.2%	↘	37.2%	→	39.6%	→	36.5%	↗
正月戦で石田章央が乗った時はバランス型で高水準も、その後の汐崎正則は迷走。潜在力は確かだが調整次第。		強力な行き足、伸びを武器に山田雄太が正月戦V。ただ、その後はややパンチが下降傾向で、出足系もひと息。		合えば出足、回り足、回った後の加速感が良く、正月戦で深谷知博が準V。ただゾーンは狭めで調整がシビア。		正月戦で杉山喜一が事故を起こした足落ちなし。グイグイ出ることはないが行き足や中間速、レース足良好。		数字は平凡だが、高橋勲が整備で底上げに成功。出足、行き足、伸びと全体に分が良く、今後の期待値が高い。	



他にS評価をつけたのは5号機、37号機、48号機、34号機、37号機と34号機はともに行き足、伸び系の期待値が高い。伸び型を好む選手やスタート巧者が手にすればより楽しみが広がる。

5号機と48号機はどちらかと言えど実戦向き。特に5号機は昨年の秋から長らく好調で、どんな選手が乗ってもある程度の水準になるといえるのがプラス材料。48号機も12月以降に優出ラッシュしてお

現行モーターは昨年4月16日が初降ろし。実績、近況ともに充実しているのが59号機だ。正月戦では芹澤克彦が終始強力な行き足を披露。その後に渡邊俊介がバランス型の舟足にして優出すると、さらにその次の節では木村仁紀が優勝。本体のパワーが強そうなのに冬場にのぼり調子なのも好材料だ。

33号機もポテンシャルは十分。12月の遠藤エミ、正月戦の石田章央らはいい動きだったが、やや乗り手を選ぶ傾向がある。

以上10基以外では1号機、25号機、29号機、22号機、61号機も中堅上位以上になる時もあり、化ける可能性も。逆に高勝率でも66号機や13号機は近況イマイチ。

(ガイド・杉田)

り、近況の充実度はナンバー1かも。

A評価は62号機、23号機、2号機、7号機。62号機は平凡な実績だが、1月に高橋勲が整備で底上げ。全方面にいい舟足だっただけに今後期待できそう。23号機と2号機も調整が合えばレース映える足に。7号機は正月戦の伸びならS評価級だが、ややパンチが下降した分で割り引いた。

**S評価5基の中で近況充実59号機  
直線系で楽しみみな37号機と34号機**